

YOU MAKE SHIBUYA ワークショップ

新しい基本構想の理念や、構想の中で描かれている区の未来像について、ゲームを楽しみながら学ぶことができるワークショップを開催しました。参加した子どもたちは、真剣な表情でゲームに取り組み、これからのまちづくりに大切なことや、自分の役割について考えていました。

☎ 経営企画課基本計画担当主査 (☎3463-1589 FAX 5458-4973)



カードゲーム

ユメミルシブヤ

自分のチームの地区を、20年後に一番幸せな地区にするべく、仲間と協力しながらカードを使ってさまざまなアクションを行い、基本構想のカテゴリーに対応した7色のコマを集めてその数を競いました。ゲームの後には、子どもたち自身が考える、これからのまちづくりに必要なオリジナルアクションカードを作成し、グループワークは大いに盛り上がりました。



8月28日 実践女子大学



参加者の声

初めて会う学校の子など、みんなで協力してやれたので楽しかった!

話し合いながらカードを工夫して使いました。

カードの意味を考えると少し難しかったけど、グループを超えて取り組みました。



未来のしゅぶやをつくるのは子どもたちの“力”

渋谷区の将来を担う、子どもたちの夢を広げる取り組みを開始しました。

9月1日 渋谷ヒカリエ



異才発掘プロジェクト ROCKET



渋谷区



東京大学

先端科学技術研究センター

「特別な才能に着目した新たな教育システムの構築」事業に係るキックオフイベント

9月から実施する「特別な才能に着目した新たな教育システムの構築」事業について、区と東京大学先端科学技術研究センターが連携して推進を図っていくことを記念し、キックオフイベントを開催しました。第1部トークセッションでは、メインテーマである「ユニークな子どもに対する多様な学び方の価値をデザインする」について、東京大学先端科学技術研究センター教授中邑賢龍氏、長谷部健区長が対談し、第2部では、同センターの特任研究員福本理恵氏、特任助教平林ルミ氏によるROCKETの取り組み、テクノロジーの活用についてのセミナーが行われ、参加者は真剣な表情で聞き入っていました。

☎ 学務課指導主事 (☎3463-2980 FAX 5458-4953)

異才発掘プロジェクトROCKET*とは

突出した才能を持ちながらも、学びの機会を得ることが難しい小中学生をサポートするプロジェクトで、活躍するトップランナーによる講義、実践型の教育プログラムなどを提供しています。今回の取り組みでは、「体験を通して知識を俯瞰すること」「プロジェクトを通して物事の進め方を学ぶこと」など、子どもたちがプログラムを通して得意分野を伸ばし、自信をつけることで問題解決をしていくスキルを身に付けることを目指します。 *2014年から東大先端研と日本財団が共催で実施

参加者の声

子どもたちの未来を行政が真剣に考えていることがわかりました。とても興味深く、社会全体が教育に取り組む大切さを感じました。

これからこうした取り組みが広がっていけばいいと思います。教育についてなかなか考える機会がなかったので、参加できてよかったです!



祝 第46回 全国消防救助技術大会 水上の部「水中結索」全国優勝!

8月25日、渋谷消防署の西條友昭消防副士長、^{くちの}口野風斗消防士が区長室を訪れ、8月23日に宮城県で開催された全国消防救助技術大会水上の部「水中結索」での全国優勝を報告しました。

水中結索とは、3人1組で水中の結索環に、第一泳者は「もやい結び」、第二泳者は「巻き結び」、第三泳者は「ふた回りふた結び」のそれぞれ指定された3種類のロープ結索を行い、その速さを競う種目です。全国優勝した東京消防庁のチーム3人のうち、西條消防副士長、口野消防士は渋谷消防署に勤務しており、長谷部区長に「今後もさらに努力を重ねていきます」と決意を語り、区長からは応援の言葉が送られました。



▲左から長谷部区長、西條消防副士長、口野消防士、渋谷消防署 安藤署長